東光原

NewsLetter



附属図書館公認キャラクター「くまぽん」



「新館長挨拶」「熊本地震関連」 2p→
「図書館 TA(ティーチングアシスタント) 3p→
「東光原文学賞募集要項」「五高ジオラマ」 4p→

新館長挨拶

【附属図書館長 髙宮 正之(たかみや まさゆき)】

私は、今年の4月に附属図書館長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いします。 先端科学研究部理学系(理学部)の教員で、生物学が専門です。

皆さんの大学での学修は「学問を修める」、つまり「学問を身につける」ことです。自ら 学ぶという姿勢が重要で、深く学問を理解し、身につけるということが必要です。自ら 課題を設定し、それを追求していく、その方法・プロセスを修得することでもあります。 附属図書館(中央館、医学系分館、薬学部分館)では、皆さんの学修を支援することを 本務としています。勉学に必要な豊富な蔵書を有し、様々な企画も計画していますので、 日々の学修に積極的に活用してください。 今年度も本学学生(学部生、大学院生、



留学生等)を対象とした「東光原文学賞」を設置し、作品を募集しています。本文学賞は、今年度で節目の 10 回目となります。 昨年度は、文・法・教育など文系だけではなく、理・工・医・薬の理系を含めた全学部から、また大学院生から、合わせて 28 編 の応募作が有り、大賞作品 1 編、優秀作品 4 編が選出されました。創設当初の本文学賞の狙いは、知・徳・情のバランスを 備えた人材を育成し、大学生の読書ばなれ図書館離れの流れを押しとどめ、文章作成能力の涵養をはかることだったそうで す。全学の学生が、教員や図書館職員の狙い以上の力を発揮してきたことが、これまで賞を継続できた理由ではないでしょ うか。震災を乗り越え、節目となる今年度も、多数の素晴らしい作品の応募を期待しています。

熊本地震ライブラリ(館内展示・WEB版)公開中

附属図書館では、平成 28 年熊本地震に関連する資料を収集しており、中央館南棟1階において現在までに収集した図書、雑誌、広報誌、パンフレットなど 200点以上の展示を行っています。

学生から提供された写真や学生が執筆した漫画による地震体験記も展示しています。館内展示の他に、他大学や地方自治体等がWEB上で公開している取組や研究成果についてリンク集を作成し図書館HP上で公開しています。

地震でどのような出来事が起こり、その経験を学び活かすために「熊本地震ライブラリ」をご利用ください。



医学系分館の地下書庫が

1年ぶりに利用再開しました。

平成28年熊本地震の被害が大きかった医学系分館では、落下資料の配架作業に約6ヶ月を費やし、1年をかけて地震被害書架の修理等を順次行ってきましたが、平成29年3月に地下書庫の書架修理が完了し、ようやく平成29年4月から利用者の全館立ち入りが可能になりました。なお、安全管理の面から、地下書庫利用の際は「書庫利用票」の提出をお願いしています。

平成28年熊本地震直後の医学系分館の様子





夏旧作業が完了した平成29年4月の医学系分館









平成29年度の図書館 TA を紹介します

図書館には、学部生に対して学修のサポートを行う*TA(ティーチング・アシスタント)*という大学院生のスタッフがいます。今年は6人のTAが活躍中です。

【山本 敬晃(やまもと たかあき)】 【古谷 航一(ふるや こういち)】

【朱 争鳴(しゅ そうめい)】

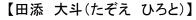






【島 由季(しま ゆき)】





研究(Research):アンテナエ学 (Antenna engineering)



【川野 倫輝(かわの ともき)】



~TA のおしごと~

普段の TA は平日 16~19 時の間、中央館 1 階ラーニング コモンズ横の TA デスクで利用者からの質問を受付けています。 他にも、以下のような図書館利用促進企画で活躍中です。

- ・図書館 TA ミニセミナー「くまぽんカフェ」 ※次回開催は平成 29 年 11 月を予定
- ・留学生向け図書館ツアー
- ・新入生 STRAT UP 講座の講師を一部担当

etc.

【平成29年6月実施の「くまぽんカフェ」】



第10回 熊本大学「東光原文学賞」募集要項

- 1. 応募対象:熊本大学学生(大学院生、留学生を含む)
- 2. ジャンル: 小説(日本語)
- 3. 応募詳細:
 - ・応募原稿は1人1篇まで。未発表作品に限る(同人誌などですでに発表したものは対象外)。
 - ・原稿は、A4版横長用紙にタテ書き、1ページ30字×40行、10~20枚(400字詰め原稿用紙30~60枚相当)以内。11ポイントMS明朝体で印字。
 - ・通し番号(ページ番号)を入れる。
 - ・1枚目にタイトル、氏名(ペンネームも可)を明記。
 - ・原稿の末尾に、住所、電話番号、メールアドレス、氏名(本名)、ふりがな、学部・学科、学年、学籍番号を付記。
 - *個人情報は、文学賞に関する連絡以外に使用しません。
 - *応募原稿は返却しません。
 - *受賞作品の著作権は、主催者である熊本大学附属図書館に帰属します。
- 4. 締め切り: 平成 29 年 11 月6日(月) 17 時必着
- 5. 応募方法: ①~③のいずれかで応募。
 - ①電子メール…原稿ファイルを添付し、アドレス:bungaku@lib.kumamoto-u.ac.jp へ送信
 - ②郵送…〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目 40 番1号 熊本大学附属図書館「東光原文学賞」宛

(封筒に"「東光原文学賞」応募"と朱書)

- ③直接図書館へ持参…平日9時から17時までに附属図書館(中央館)サービスカウンターへ
- *②③は用紙の右肩を綴じてください。また、原稿(電子)ファイルの提出もお願いします。
- 6. 審查員:本学教員等3名
- 7. 表彰:大賞1編 表彰状・特製記念トロフィ 副賞図書カード 20 万円 優秀賞3編 表彰状・特製記念トロフィ 副賞図書カード5万円
- 8. 結果発表および表彰式: 平成 30 年1月 12 日(金)
 - * 大賞候補者へは事前に連絡しますので必ず出席してください。
- 9. 受賞作品の公開:『東光原文学賞作品集』冊子発行 及び 附属図書館ホームページで公開 <問い合わせ先>熊本大学附属図書館(担当:教育研究支援部図書館課)

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目 40 番1号

Tel: 096-342-2212 / E-mail: bungaku@lib.kumamoto-u.ac.jp

図書館に五高ジオラマが登場!



中央館1階レファレンスデスク前に『第五高等 學校』ジオラマが登場しました。このジオラマは 五高記念館に展示されていたものですが、改修 工事期間中の数年間に限り、図書館に設置される ことになりました。昭和20年当時の姿だそうです。 旧制五高時代、現在の中央館の敷地一帯は 「東光原」と称する運動場でした。図書館発行の ニューズレターや、文学賞の名前はこれに由来 します。

